

2016 年 6 月 25 日

連続講座「京を発掘！出土品から見た歴史」第 7 回

公家衆の暮らし

(公財)京都市埋蔵文化財研究所 持田 透

1. はじめに

公家町の形成について

～平安京から「京都」における公家の住まいの変遷～

公家町形成の最古絵図は『中むかし公家町之絵図』1615 年頃か

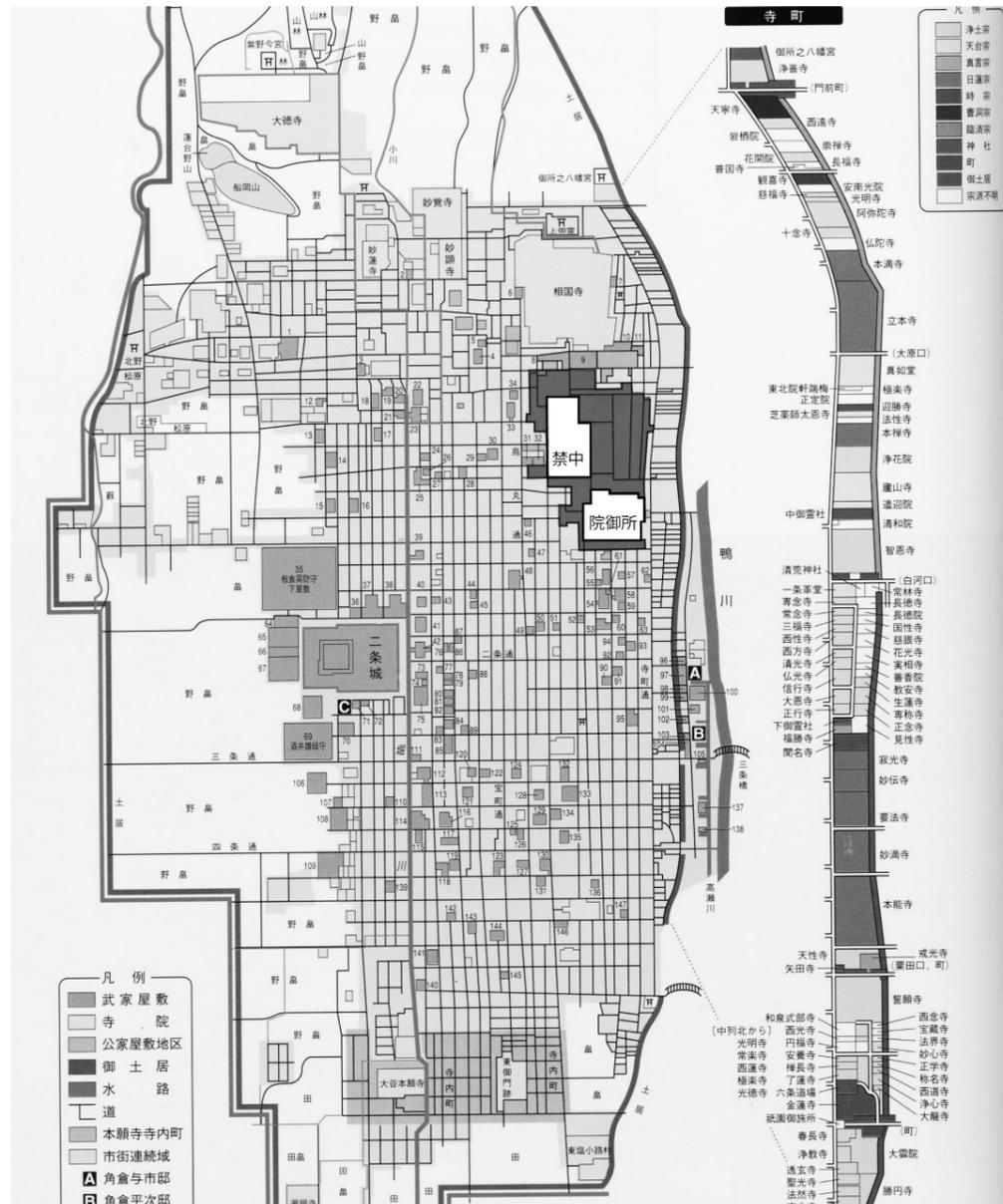


図 1 江戸時代初期の公家町の位置

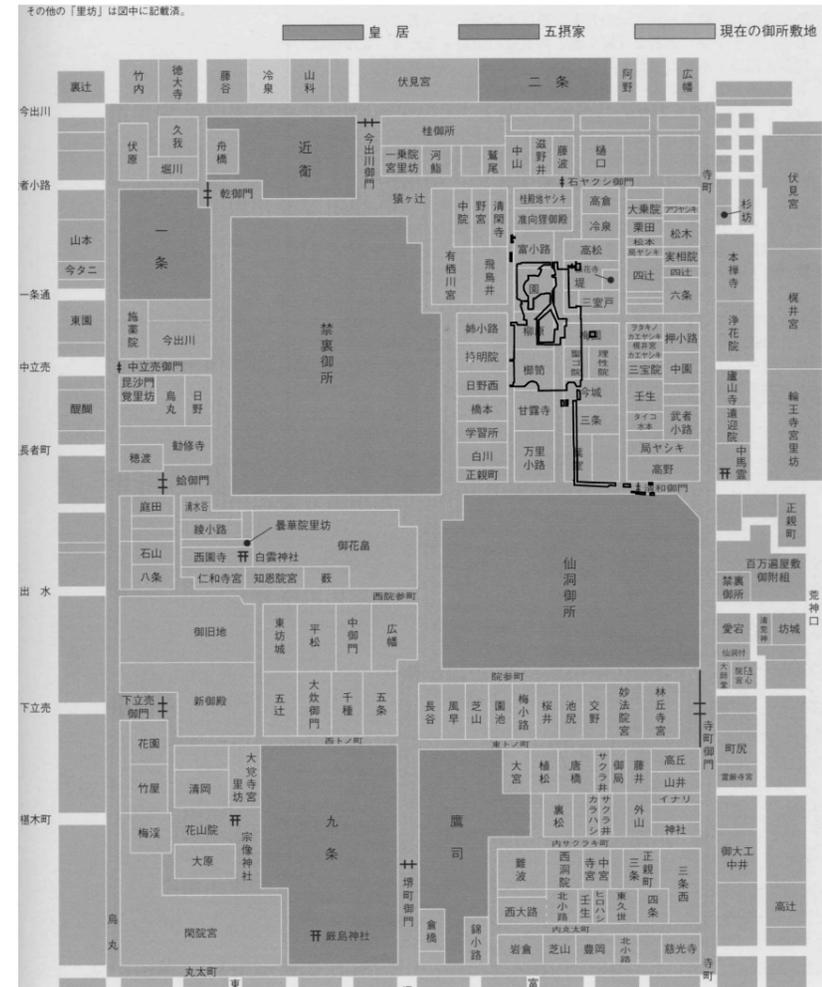


図 2 18 世紀以降の公家町配置図
※文久 3 (1863) 年絵図がベース
囲みは迎賓館建設に伴う主な発掘調査地

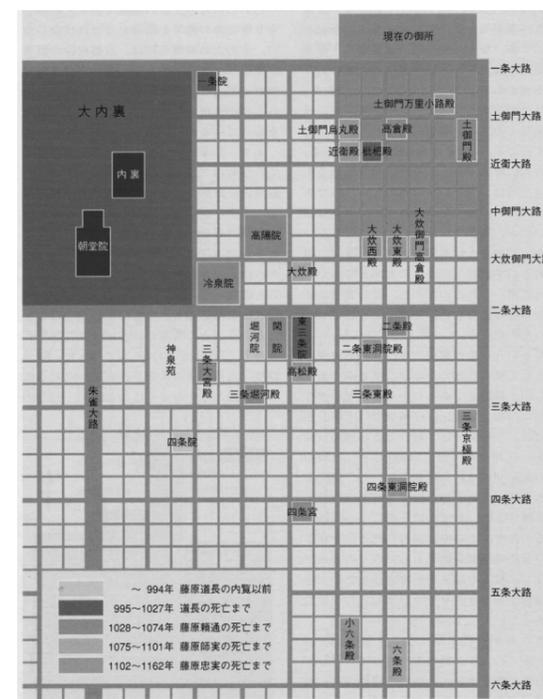


図 3 平安宮と平安寺時代の里内裏

2. 公家町のくらし

～京都迎賓館建設に伴う発掘調査（1997～2002年）から～

□ かわらけ（土師器皿）

- ・18世紀代における京都市内遺跡との様相の違い

□ 陶磁器

- ・組物の多様性
- ・煎茶の文化（黄檗宗万福寺開祖いんげんりゅうき元隆琦の逸話）
- ・多量の「仁清」、「鍋島」

□ 禁裏注文品

- ・伊万里では辻家を中心とする有田の窯元で江戸時代中期頃から明治時代まで焼かれた。霊元天皇（在位（1687～1709）から辻喜右衛門に禁裏御用命を蒙る。

特徴

- 藍色の呉須で描かれ、彩色されない
- 十六弁菊花文を基本に、檜垣文、亀甲文、松川菱、草花文などの散らし文
- 銘款がはいらない
- 平碗うがいわん、嗽碗以外の碗類（浅い碗）以外は内面無文
- 皿は見込みが白抜き、外面は梅花に輪郭線とダミで繋ぎ文を描く

- ・十六弁菊花文を描いた京焼（栗田口窯）

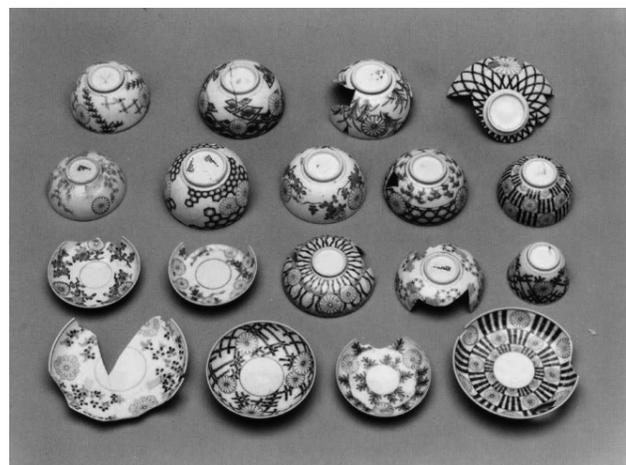


図4 禁裏注文品（伊万里）

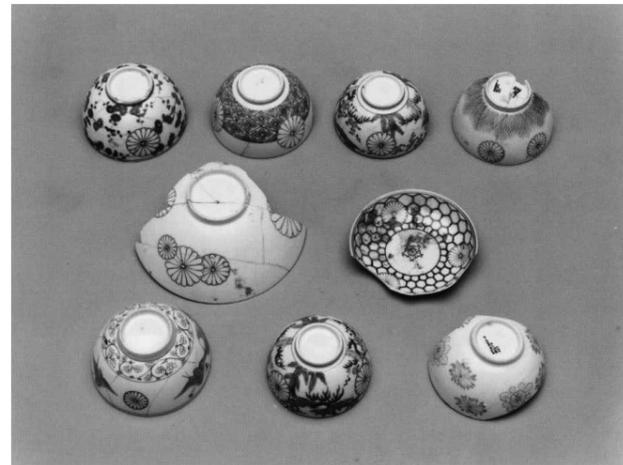


図5 禁裏注文品（伊万里）



図6 鍋島



図7 禁裏注文品（京焼）

□ 金属・ガラス製品

- 香道具……香匙、銀葉鉢、灰おさえ、鶯、香炉
- 装身具系……髪飾り、刀装具
- 建築系……襖の引き手、釘隠
- 飾金具系……八双金具、紐金具
- 地鎮具系……賢瓶けんびょう
- 石製品……国産（高嶋），輸入（朝鮮半島産など）の硯
- ガラス製品……輪花の器、切子の雛道具、

ヨーロッパ産ガラス製品（ボウル、皿、ワインボトル、デキャンター、ランプ火屋など）



図8 ガラス製品1

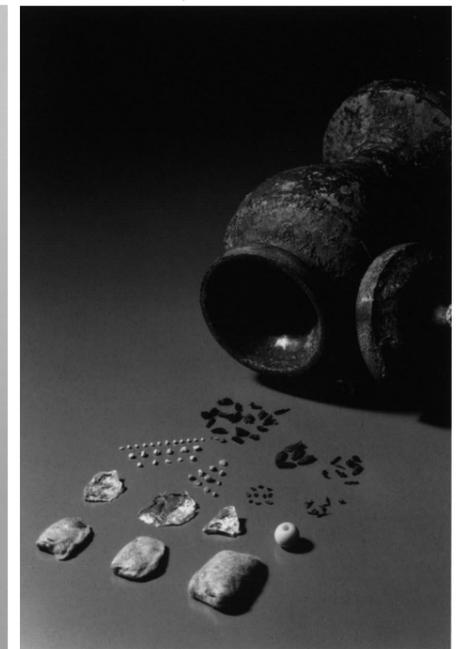


図10 賢瓶



図9 ガラス製品2

3. 御所のくらし

～御所・大宮御所での発掘調査から～
 ・公家町遺跡との出土遺物の比較

4. 公家衆のくらし

～残された記録から～

・『禁裏御膳式目』江戸時代後期

「年中御祝日ハ汁九菜也。常ハニ汁七菜也。御夜食ハニ汁五菜也。」

・『幕末の宮廷』下橋敬長（一条家の侍従）による口述記録。大正 11 年。

「…お余りは御末が戴きます。それが御末の役得でございます。月に二、三度ぐらいは、御茶碗などまで戴いて持って来ます。私も頼みまして、天子のお茶碗などをもらったこともございます。…」

禁中で使用された器は毎月朔日（一日）に定期的に交換 →多量廃棄の要因

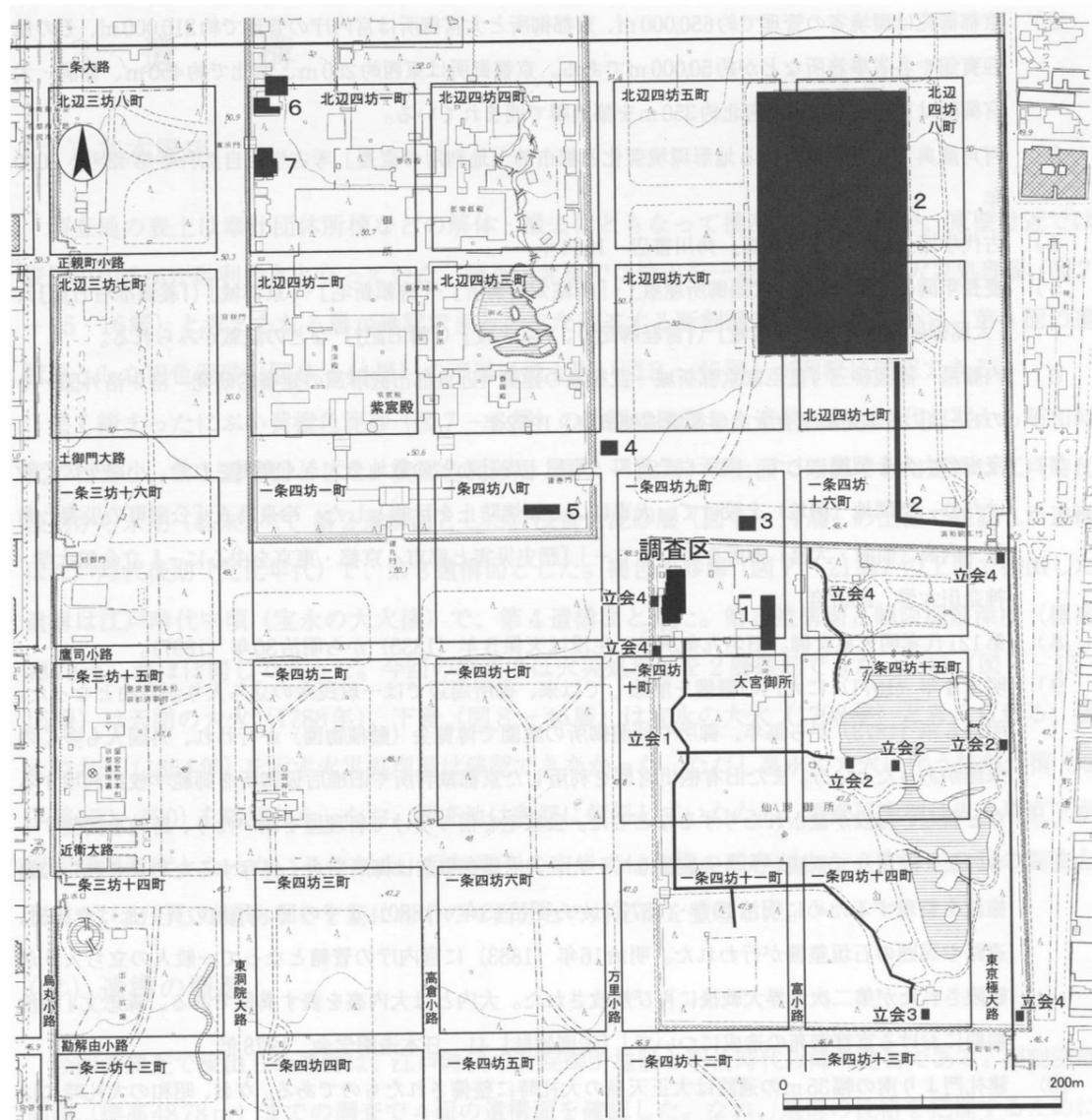


図 11 京都御苑内の発掘調査位置図

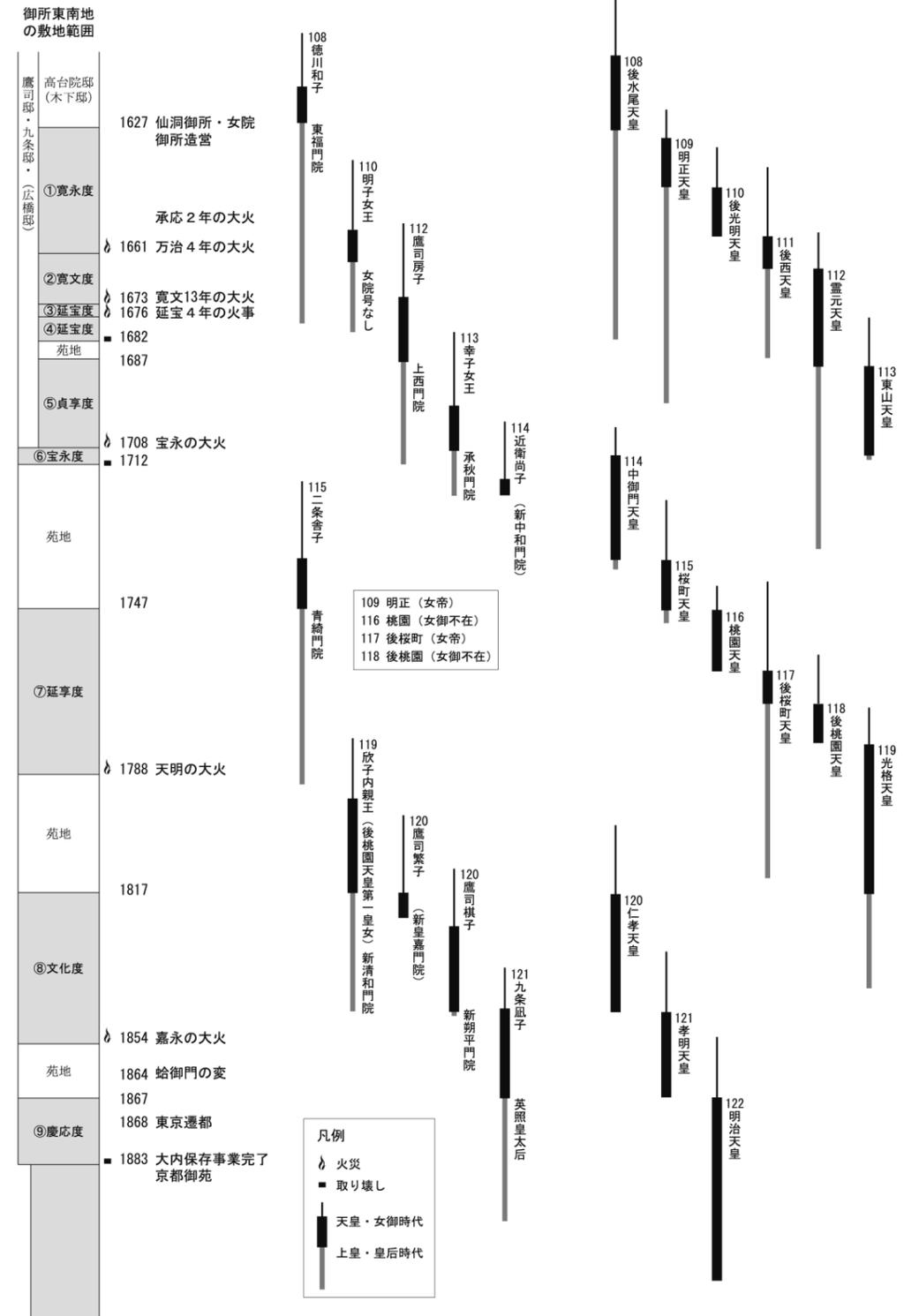


図 12 江戸時代～明治時代の天皇と女御

図版出典

1～3：足利健亮『京都歴史アトラス』中央公論社 1994 年

4～10：(財)京都市埋蔵文化財研究所『平安京左京北辺四坊』2004 年

11・12：(公財)京都市埋蔵文化財研究所『平安京左京一条四坊九町跡・公家町遺跡』2016 年